

令和3年度

希望が丘高等学校一般入学者選抜試験問題

国語

注意

- 1 監督者の開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから8ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 4 解答用紙の※印の欄には、何も記入しないでください。
- 5 監督者の終了の合図で筆記用具を置き、解答面を下に向け、広げて机の上に置いてください。
- 6 解答用紙だけを提出し、問題冊子は持ち帰ってください。

受験番号					出身中学校		氏名	
------	--	--	--	--	-------	--	----	--

問題は、次のページから始まります。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。句読点等は字数として数えること。

環境問題とは、別な言い方をすれば①「なにかを手に入れたこと」のツケである。農薬や遺伝子組み換え^A作物の問題は、その典型であろう。ここでも、「丸儲けはない」のである。多摩動物公園の昆虫園に勤めている人の奥さんに聞いた話がある。ご主人がスーパーマーケットで小松菜を買ってきて、飼っているバツタに食べさせたら、みんな死んでしまったという。奥さんは、「人間は丈夫なんですわね。」と笑った。その後、中国野菜の農薬残留問題が^B浮上した。虫を扱っていけば、そういうことなら、^A専門家より先にわかるのである。

小松菜が虫に食われるのは、②税金みたいなものだと思う。税金を払っているから、安心して食べられる。税金を払うのがいやだと、農薬を使ったために、もっと請求額の多いツケが回ってきた。二〇〇二年の夏には、野菜に残留している農薬が基準値を超えていたとか、許可されていない農薬が農協ぐるみで使用されていたという事例がいくつも明らかにになった。許可されていない添加物^{てんかぶつ}が加工食品に入っていたという話も、連日のように報道された。新聞の社会面のいちばん下の欄^{らん}に関係者のお詫び^わ広告がずらりと並び、問題の作物や食品が回収されたり、処分されるようすがニュー

ス画面に流れた。

人間の欲望はきりが無い。虫に食われていない、きれいな野菜が食べたい。すぐに食べられる調理済み食品がほしい。イすこしでも風味のよいものを食べたい。日持ちがいいと助かる。おかげで農薬漬けの野菜とか、保存料や^Cジンコウの調味料がふんだんに添加された加工食品が出回る。なんのことはない。見た目がきれいなうえに、便利な食品を手に入れた代わりに、③税金より高いツケに苦しんでいるのである。

便利な生活に由来する、もう一つの大きなツケは、大量のゴミである。ゴミというと、ファーストフードやカップ麺^{めん}の^Dヨウキを想像するかもしれないが、じつは食品自体が大量のゴミになっている。あるコンビニエンスストアが、売れ残った弁当を堆肥^{たいひ}にする工場をつくったという話をテレビで見た。堆肥にするのは結構な話だが、工場が神奈川県にあり、東京都での売れ残りは生ゴミだから他県に運べない。④そのことを問題にしていた。じつはその番組を見て私がいちばん驚いたのは、コンビニの弁当の四割が売れ残るという話だった。

売れ残りは堆肥になり、野菜となってまた弁当に入る。という

ことは、弁当の四割は、人間を通過せずに無駄なE循環をするわけである。まさに花見酒の経済が進行している。弁当―売れ残り―堆肥―作物―弁当という循環が成立し、それが経済活動に組み込まれているからである。江戸時代には糞尿はすべて田畑の肥料となっていた。もちろん、大量の食品を無駄にできるだけの生産力はなかっただろうから、食品はほとんどが人の口に入ったはずである。つまり、食品は人の体を通して、ほとんど一〇〇パーセン

(注)GDP・・・国内総生産。

問一 傍線部AとEの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問二 波線部ア「専門家」と同じ組み立ての三字熟語として適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 新社会 イ 真善美 ウ 工芸品 エ 再開発

問三 波線部イ「すこしでも風味のよいものを食べたい。」とあるが、文節に分けるとどうなるか。適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア すこしでも／風味のよい／ものを／食べたい。

イ すこしでも／風味の／よい／ものを／食べたい。

ウ すこしでも／風味／の／よいもの／を／食べたい。

エ すこし／でも／風味／の／よい／もの／を／食べたい。

ト循環していたのである。現代の社会では、人の体の外を通る食品がGDPを生み出す。食品に限らない。どうしても必要なわけではない品物がたくさん売られ、それを買う人がいて経済がようやく回っている。多くの人が「もうほしいものはない」と感じているのに。

(養老孟司『いちばん大事なこと』による。一部改変)

問八 この文章で筆者が言おうとしているのは、どんなことか。適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 我々の生活にとって「食の安全」は重要な課題だ。一日でも早くその対策を考えるべきである。

イ 我々の経済生活にとって、多少の無駄は、活性化を図るためにはしかたのないことだ。

ウ 我々は便利な生活を手にした代わりに、環境問題を引き起こし、無駄なものを大量に生み出している。これは問題だ。

エ 我々の欲望はきりが無いが、今ストップをかけなければ日本の経済は成り立たなくなってしまうだろう。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

ある人、弓射る事を習ふに、^①もろ矢をたばさみて的に向ふ。師の言はく、初心の人、ふたつの矢を持つ事なけれ。後の矢を頼みて、はじめの矢に^②なほざりの心あり。毎度ただ得失なく、この一矢に定むべしと思へと言ふ。アわづかに二つの矢、師の前にてひとつをおろそかにせんと思はんや。懈怠の心、みづから知らずとイいへども、師これを知る。この戒め、万事にわたるべし。道を学する人、夕には朝あらん事を思ひ、朝には夕あらんことを思ひて、かさねてねんごろに修せんことを期す。ウいはんや一刹那のうちに於いて、懈怠の心ある事を知らんや。なんぞ、ただ今の一念において、^③直ちにする事のはなはだ難き。

『徒然草』による。一部改変

(注) 得失なく…利益と損失とを計算する気持ちを持たない。

思はんや…思うだろうか、いや思いはしない。

懈怠…怠けること。

道…学問や芸能の道。ねんごろに…念を入れて。

期す…心に思い定める。一刹那…一瞬間。

知らんや…知ろうか、いや知るわけがない。

問一 傍線部ア「わづかに」・イ「いへども」・ウ「いはんや」を現代仮名遣いで書きなさい。

問二 本文中には「」をつけられる部分が一カ所ある。その最初と最後の三字を抜き出して答えなさい。(句読点は含まない)

問三 傍線部^①「もろ矢をたばさみて」・^②「なほざりの心」・^③「直ちにする」の意味として適当なものを、次の中からそれぞれ一つ選び、記

号で答えなさい。

①「もろ矢をたばさみて」

ア ふたつの矢を背負って

イ ふたつの矢を手を挟んで

ウ もろい矢に心を込めて

エ もろい矢を袋に入れて

②「なほざりの心」

ア 普段通りにする気持ち

イ 真面目にする気持ち

ウ 楽しく取り組む気持ち

エ おろそかにする気持ち

③「直ちにする」

ア 正直にする

イ まっすぐにする

ウ すぐにする

エ 懸命にする

問四 波線部「夕には朝あらん事を思ひ、朝には夕あらんことを思ひて」について、このような表現方法を何とか、漢字で答えなさい。

問五 本文の内容を説明すると次のようになる。次の空欄 に入る適当な語を、本文中からそれぞれ六字以内で抜き出して答えなさい。

この文章はまず、 を習う話で始まり、このことに関する教えは と著者は述べている。次に、これは にとつても同じで、現在の一瞬間のうちにある を克服することがいかに困難であるかについて鋭く指摘している。

問六 (1) 『徒然草』の作者名を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 鴨長明 イ 清少納言 ウ 紫式部 エ 兼好法師

(2) 『徒然草』は随筆であるが、随筆の作品を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 方丈記 イ 伊勢物語 ウ 源氏物語 エ 奥の細道

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。句読点等は字数として数えること。

かつて、書店に勤めていた。売場に立てば、朝から晩まで「いらつしやいませ。」「ありがとうございます。」だ。ある時、昼休みを終えたアルバイトの女の子が、くすくす笑いながら戻ってきた。どうしたのかと聞くと、弁当箱の蓋を開け「いただきます。」と言うつもりが、手を合わせて「いらつしやいませ。」と頭を下げたのだそうだ。

「ありがとうございます。」も癖になる。買物をした際、あるいはタクシーを下りる際、釣り銭を受け取りながら、ごく自然に「ありがとうございます。」と言ってしまう。受けたサービスへの謝礼だ。悪いことではないし、相手にきよとんとされるようなふるまいでもないけれど、無表情のまま釣り銭を差し出す店員や運転手にあたると、「なんでお客だけが礼を言うんや。」と苦笑してしまう。

商売というのはすばらしいシステムだ。この世の幸福の総和がゾウダイするようにできている。ごまかしがなく、納得した上でフェアな取引ならば、双方ともが喜べるのだから。自由主義社会には競争があるゆえ、「うちで買っていただいてありがたい。」と売り手は感謝しなくてはならないにしても、別に①買い手が偉いわけではない。「いやお客は偉い。②買う時は、だれもが王様になる。」という考え方もあるだろう。しかし、それだと無用のストレスが社会に広がりそうで、賛同しかねる。

子供のころ、駄菓子屋でキャラメルを買う時や、食堂で親が精算をしている時、「買ってやったぞ。」とお客様面をしていた。高度経済成長期に育ったので、小学生でもいっぱしの消費者として

扱われた結果と言える。そんな私が現在のように変化したのは、自分が社会に出て接客の現場にいたせいだろうが、それに先立つ経験もある。

中学生になるかならずかという夏休み。両親の郷里である高松でCスゴシ、源平合戦で有名な屋島に遊びに行った。蝉しぐれの遊歩道を散策した私は、あるDコウケイに出くわす。

休憩所の店先に帽子をかぶったおじさんが立ち、中をのぞいていた。五十代ぐらいの人だったのではないか。連れはいなかった。うどんでも食べて店を出ようとしていたらしい。おじさんは財布を片手に、店の奥に向かって言った。「ごちそうさまあ。」

意外な言葉だった。代金を払おうとしているのに店員の姿が見当たらない場合、とりあえず「すみませーん。」と呼びかけるものだと思っていた。いや、それしか思いつかなかった。なのに、このおじさんは無料でもてなされていたかのように「ごちそうさま。」と言う。一瞬だけ違和感を覚えた後、私の内に変化が起きた。自分のためにサービスしてくれたのだから、お客として代金を支払うとしても感謝の言葉を言うのが礼儀にかなっている。考えたこともなかったけれど、それはそうだと納得し、お客は偉いわけではない、と知ったのだ。

後日、食堂だかレストランだかで食事をして店を出る時に、私は③小声で「ごちそうさま。」と言ってみた。すると、それだけのことで一歩大人に近づいたように感じた。以来、店側にE不始末がないかぎり「ごちそうさま。」を言い添えている。

屋島で見た何でもないひとコマが、私を少しだけ変えた。あの

おじさんには、^④今も感謝している。先方は、すれ違っただけの少年に何事かを教えたとはゆめゆめ思っていないだろうが、大人の言動が子供に与える影響は、これほど大きいのだ。平素から心し

ておかなくてはならない。

(有栖川有栖「お客は偉くない」『日曜日の随想―2007―』による。一部改変)

(注) 屋島…地名。 ゆめゆめ…少しも。

問一 傍線部A～Eの漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。(なお、送り仮名が必要なものは、平仮名で正しく送ること。)

問二 傍線部^①「買い手が偉いわけではない」と私が考えるのはなぜか。その理由を示す一文を、この傍線部より後の本文中から探し、最初の三字を抜き出して答えなさい。

問三 傍線部^②「買う時は、だれもが王様になる」とあるが、「私」が「王様」のような気持ちになったときのこと書かれている一文を本文中から探し、最初の三字を抜き出して答えなさい。

問四 傍線部^③「小声でぎこちなく」から読み取れる「私」の心情として適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 面倒くさい イ 照れくさい ウ 不本意だ エ 気分が悪い

問五 次の会話は本文の内容を説明したときのものである。次の空欄 ア ウ に入る適当な語を、本文中からそれぞれ抜き出して答えなさい。ただし、アは二字、イは三字、ウは五字とする。

藤原さん … 商売をする中で、売り手も買い手も <input type="text"/> ア <input type="text"/> すれば、お互いが幸せな気持ちになれるね！
深見さん … すごい発見だね。そんな作者も子供のころは、 <input type="text"/> イ <input type="text"/> として偉そうにしていたみたい。
藤原さん … そうだね。考え方に変化が生まれたのは、屋島での出来事があったからなんだ！
深見さん … <input type="text"/> ウ <input type="text"/> が子供に与える影響は大きいんだね。僕も「 <input type="text"/> ウ <input type="text"/> さんさま。」って言ってみようかな。

